

「14歳のよのなか挑戦」

＜平成29年度 実施＞

日向市立大王谷学園中等部 「社会体験学習」



- | | |
|------|--|
| ・日時 | 平成29年 10月24日(火)～26日(木) |
| ・参加者 | 日向市立大王谷学園
中等部8年生（中学2年生） 106名
（1～3名のグループに分かれて、各事業所で体験します） |
| ・場所 | 日向市内（一部市外）の各事業所 |

日向商工会議所
日向市キャリア教育支援センター
日向市立大王谷学園中等部

「14歳のよのなか挑戦」でお願いしたいこと

(1) 真剣に仕事に向き合う姿を見せていただきたい

普段通りの働いている姿を見せ、真剣に働く様子を感じさせてください。
どういう思いで仕事をしているか、働く大人の気持ちに気づかせ、また大人の働く姿から、働くとはどういうことなのかを考えさせることが、この体験のねらいです。

(2) 何のために働くのかを伝えていただきたい

働くということは、生活するお金を稼ぐためだけではなく、仕事を通して様々な経験が自分の成長につながることで、そして自分がやりたいことだけをするのが仕事ではなく、誰かのためになることをするのも仕事であることを教えてください。

(3) どんな仕事にも意味があることを伝えていただきたい

体験を通して、「働くとは何か」を考えさせるのが目的です。
体験させることができる仕事は、「雑用」「補助」と呼ばれるものかもしれません。
しかし、そうした仕事も大切な「仕事」であり、誰かの仕事につながっていること、役に立っていることを教えてください。

(4) チームワークの大切さを伝えていただきたい

仕事には、一人で行う業務はもちろん、チームや仲間で行う業務も多くあります。
周りの人との協議や「報告・連絡・相談」などを生徒に求めることで、生徒は普段学校で学んでいる「チームワーク」の大切さを再認識することができます。

(5) 人間性を高めることの大事さに気付かせていただきたい

社会のルールやマナー・エチケットを体験することで、一人前の社会人・職業人になるには何が必要かに気付くことができます。
親や先生以外の大人から、仕事に真剣に向き合う姿や生き方を学ぶことで、いいかげんでは社会では通用しないことに気付くことができると思います。

これまでの「職場体験」とのちがい

* これまでは、とりあえず「仕事を知る」ことに主眼が置かれ、「何でもいいから経験させてほしい」というケースも多くみられました。

* しかし今回は、期間もこれまでの2日間から3日間に延長して、

「普段通りの仕事を、可能な範囲で経験させてほしい」

「許される範囲で、失敗も経験させてほしい」 をお願いしたいと思います。

(「中学生」として受け入れるのではなく、「新入社員」(無償のアルバイト)に近い形で受け入れていただけるとありがたいです。

来年以降は、可能であればさらに体験期間を延長して計画したいと考えています)

* 「体験」することに加えて、生徒が自分で「考える」機会をつくっていただけるとありがたいです。ご自身の経験や思いを語っていただけるとありがたいです。

* 社会体験の効果を高めるために、学校では「事前学習」と「事後学習」に、今まで以上に力を入れて取り組もうと計画しています。

例えば、こんな体験をさせて、考えさせて、いただけるとありがたいです

***ある「保育園」では**

- 1日目 子供への接し方や、大まかな行事予定、保育士の仕事などを学ぶ。
 - 2日目 早番を体験し、早朝からの園児の受入れの様子にも直接触れる。
昼間は清掃や、給食と後片付け、おやつ準備、着替えなどを手伝う。
 - 3日目 遅番も体験し、保護者の迎えでのやりとりも体験する。昼間は前日と同じ体験
- 3日間を通して、保育士さんたちが、どんな工夫や改善をされているのかを考えさせる**

***ある「老人介護施設」では**

- 1日目 施設の巡回や、介護士に付き添って仕事の全体を学ぶ。
 - 2日目 デイサービスのレクレーションと一緒に体験し楽しい経験もする。
 - 3日目 車椅子で風呂に入るのに付き添い、その後の風呂掃除をし、下膳で食べ残しの様子にも触れ、車椅子押しを体験し、仕事の厳しさにも触れる。
- 3日間を通して、介護士さんたちの喜びと苦労を考えさせる**

***ある「スーパー（小売）」では**

- 1日目 仕入れ先の農場へ行って、農作業に立ち会い、収穫作業を体験する。
 - 2日目 それがどのように加工され、商品として店先に並べられるかを体験する。
バックヤードでの体験や、店頭に立ってお客様にも接する。
 - 3日目 トレーナーから訓練を受け、お客様への挨拶ややりとり、レジのお手伝いも体験
- 3日間を通して、加工や袋詰や値付け等、どう工夫すれば買ってもらえるのかを考えさせる**

***ある「建設会社」では**

- 1日目 建設会社の仕事内容の説明を聞いて学び、事業所の見学や巡回を体験する。
 - 2日目 建設現場で、現場監督さんの仕事（測量、指示、パトロール等）を体験する
 - 3日目 建設現場で、作業員の方の仕事を見学して学び、可能な範囲で作業も行い、可能であれば重機運転も学ぶ。
- 3日間を通して、現場作業や建設機械のしくみと、学校での学びのつながりを考えさせる**

学校では、事前に様々な学習をして本番に備えていきます

1. **オリエンテーション** (9月12日(火))
 - ・日向市キャリア教育支援センターの水永正憲さんが、「社会体験の意義」を講話
 - ・その後、先生からの説明や問題提起と、生徒同士によるグループワークを行う
2. **職業人「よのなか教室」** (9月26日(火))
 - ・実際に社会で働いている職業人から話を聞いて、社会のことや、働くということ、将来のことなどについて考えを深める機会とします
 - ・講師 松木真一さん(特別養護老人ホーム 永寿園 施設長)
安藤 靖さん(株式会社 創建 代表取締役)
黒木正一さん(日向商工会議所 専務理事)
3. **マナー「よのなか教室」** (10月 3日(火))
 - ・社会体験に備えて、マナーが何故大事なのか、挨拶やお辞儀の仕方、電話のかけ方などの具体的なマナーを、専門家に来ていただいてお話を聞き、実際に体験します
4. **仕事の基本「よのなか教室」** (10月17日(火))
 - ・「子供への接し方」「高齢者や患者への接し方」「衛生の知識」「安全の知識」「清掃の基本と考え方」などについて、それぞれの分野の専門家や高校の先生、高校生を講師として招き話を聞き自分たちで考えを深めてまとめます

地域をあげて子供たちを育てる街をめざしたい

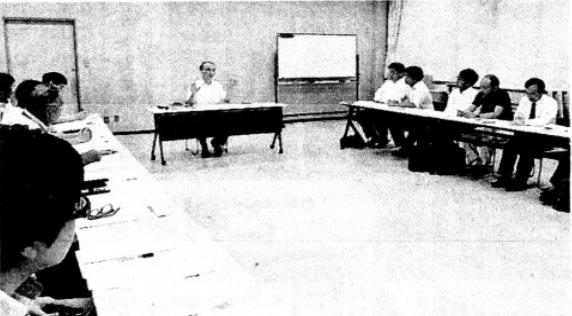
- * 若者が、地域外へ出て行ってしまうという状況がつづいています。
この地域で「働き」そして「暮らす」魅力を、大人たちが語り伝えきれていないことも、その大きな原因の一つです。
この地域の将来を担う子供たちを育てるには、「地域をあげて子供たちを育てる街」をめざしていく必要があります。
- * 日向市では、「日向の大人はみな子供たちの先生」をスローガンに、地域の様々な大人が、子供たちに「働く喜びと苦労」を語る運動に取り組んできました。
これらの取組をさらに拡げて、「14歳のよのなか挑戦」という社会体験学習の場で、
子供たちに、この地域で働き、暮らす魅力を伝えていただきたいと思います。
- * 「地域の魅力と課題」を、多様な大人から聞くことで、進学や就職で地域外に出ても、将来はこの地域に喜んで住み続けたいと思う子供たちを育てるきっかけになります。
日向の将来を担う人財は、日向の人々の力で育てていかねばなりません。
日向の町ぐるみで、人づくりに取り組んでいきたいと思ひます。

「14歳のよのなか挑戦 協力事業所の会」が発足しました

- * 日向商工会議所を事務局に、「14歳のよのなか挑戦」を受け入れていただく「協力事業所の会」が発足しました。現在のところ、26事業所に参加いただいています。
今後とも、さらに多くの事業所の方々のご理解とご協力をお願いして参ります。
- * 「14歳のよのなか挑戦 協力事業所の会」の役員には次の方々に就任いただきました。

会長	高木亮輔さん	(株式会社マルイチ)	会長)
副会長	松木真一さん	(特別養護老人ホーム永寿園)	施設長)
副会長	田崎 澄さん	(有限会社天領うどん本店)	会長)
事務局	日向商工会議所、日向市キャリア教育支援センター		

中学生職場体験 後押し 日向 26事業所が協力会設立



日向市内の中学生の職場体験学習について意見を交わす「協力事業所の会」の会員ら

日向市内の26事業所は10日、キャリア教育を推進する「協力事業所の会」を設立した。市内の中学2年生の職場体験学習「14歳のよのなか挑戦」を積極的に受け入れる態勢を整え、地域ぐるみで人材育成に取り組む。

同市では現在、各中学校が2日間の職場体験学習を行っており、事業所に個別に依頼して生徒の受け入れ先を確保している。教師が事前に行う事務手続きの煩雑さや、学習目的を事業所と共有しづらい

点などが課題になっていた。そこで同学習を円滑でより充実した内容にしようと、日向商工会議所(三輪純司会長)と市キャリア教育支援センター(水永正憲センター長)が同会の設立を提案、企業に協力を呼び掛けた。同会は今後、受け入れ手続きの統一化や簡素化、学校との意見交換などに取り組んでいく方針。

同市の同商議所であった設立会には、関係者約30人が出席。会長に高木亮輔さん(丸)

宮崎日日新聞(平成29年8月13日)

発行	日向商工会議所
お問合せ先	日向市キャリア教育支援センター
	〒883-0044 日向市上町 3-15 日向商工会議所 2 F
	TEL : 57-3522 FAX : 52-1133

(本リーフレットの内容についてお問合せ等がありましたらご遠慮なくご連絡下さい)